

森下さち子



2017年6月
和歌山市会議員団
TEL(435)1113
FAX(421)4181

国保料滞納者への対応について

市長と懇談しました

5月号でお知らせした、4月20日に市長へ申し入れた国保料を滞納している人への不適切な対応について、5月24日当局から回答があり、そのことについて市長と懇談しました。

滞納者の中であらかじめ、国保年金課と分納の誓約をしている人についても4月27日とい

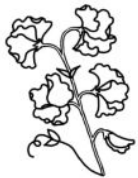
う期限を切って、一括返済を迫り、返済できないなら差し押さえるという内容の最終催告書を送ったものです。

懇談の中で今回の文書送付については配慮が足らなかったこと、滞納者には事情があり、生活状況を把握する必要があることから、4月27日とした期限については撤回し、きめ細かい



1年で最も昼の時間が長い夏至。今年の夏至は、6月21日だそうです。二十四節気の一つでなんと言うことはないのですが、特別な食べ物を食べる風習を持つ地域もあるとか。

夏の好きな私は、いよいよ夏が来るなあと言う気持ちになるので不思議です。一方、冬が長く、太陽の恵みの少ない北欧に訪れる夏至はお祭りの日。それだけ、夏の到来が待たれているのですね。



衆議院和歌山1区予定候補

原やすひさ です



ヒロインである「有田川」の千代も、「日高川」の知世子も有吉という女の視点から描かれ、男の作家にはないリアルな世界がある。有吉佐和子の作品をぼくは前々から好ましく思っている。和歌山市にはこの作家の記念館のひとつくらいあっても何の不思議もない。しかし、残念ながらそうした施設はない。聞くと、歴史資料館（西の丸の横）のなかに資料があると聞き、早速行ってみた。入り口で「100円要ります」と係員から声をかけられた。「お金もってないよ」というと、「入れません」と取りつく島がない。文化の薫りになぜ100円なのか、嘆息した。

高すぎる国保料の引き下げを

国保年金課は懇談の中で、保険料の納付については納付者の不公平感を招かない

対応に心がけるとの回答がありました。市長も今回のような事態になった経緯を説明させるとともに、債権回収対策課へ送る前にきめ細かな対応ができるのかの確認を取り、改めて適切な対応をする答應えました。

求められていると言います。私たちは、払えるのに払わない人に対する配慮を求めているわけではありませ

ん。相談に来られる方は、様々な事情から生活苦に陥り、払いたくても払えないからこそ滞納してしまうのです。

しかも、滞納すれば高額医療助成制度や限度額認定などの給付が受けられませんが、医療費の支払いにも事欠き、ますます困難を極め

る実態の改善のためには国保料金の引き下げを行う以外にはありません。今回の件を通じ、改めて国保料引き下げが切実だと痛感しました。議会でも引き続きがんばります。



日台友好議員連盟で台湾訪問

5月19日〜21日、台湾の台北市へ行かせていただきました。

今回の目的は「紀州庵100周年記念式典」を現地で行い、友好関係をさらに深めようというものです。私にとっては、初めての海外。プライベートでも幾度となく台湾を訪れている議員さんの後をつけて、教えられながらの3日間でした。

《紀州庵100周年記念式典》

紀州庵は100年前、和歌山市出身の平松徳松氏が開いた料亭で、当時は多くの人で賑わったということです。戦後、公務員宿舎として利用されるも、老朽化していた建物を保存しようと台北市のみなさんが働きかけ、台北市が文化財として認定、2011年には文化施設として再出発しました。この建物を台湾と日本の友好の架け橋にとの願いを込めて、記念式典が催された次第です。式典には平松氏の孫にあたる



喜一郎さんご夫妻と親族のみなさんも出席されました。さらに津軽三味線奏者の木下真一さんも式典で演奏され大いに湧いた時間でした。

《活気あふれる台北市》

台北市の人口は270万人。人口密度が高いとの言葉どおり、道路にはタクシー、バス、バイクがひしめき合っています。時には前と後ろに子どもを乗せた3人乗りのバイクも見かけました。

朝は市が立ち、朝ご飯をそこで済ませて出勤する人の多いこと。テイクアウトして家で食べる人もあるそうです。夜は夜で夜市（よいち）が立ち、そこでも大勢の人が食事を楽しんでいきます。家庭で調理して食べるのではなく、朝も夜も外の店で食べるのが普通だということでした。麺類、井風のご飯、焼き鳥、果物、スイーツ…何でもあります。

人々のエネルギーを感じる、活気にあふれたまちです。ぜひ、プライベートでも再訪したいと思いました。

知っていますか??
保育所と幼稚園が減ってしまうことを!!

いまある、**公立保育所(21カ所)と公立幼稚園(13カ所)が、** **16カ所に統合認定こども園に!** (サテライト園含む)

※サテライト園とはしばらくは、入所可能だがゆくゆく閉園予定の園

認定こども園って?
 【保育所と幼稚園が同じ施設内にある】
 たとえば・・・
 1つの園のなかで、14時まで(幼稚園モード(カリキュラムに沿った小学校準備など)。14時以降も保育が必要な子どもたちは園に残り保育所モードに切り替わる。(0～2歳は保育のみ)

いままで自転車で通ってたけど、園が遠くなるなあ…雨の日も大変!!

短期&不安定の仕事だから助かる☆

集団生活に慣れて小学校に上がったら安心☆

150～170名の定員になるって聞いたけど…うちの子ゆっくりさんやから少人数の園でしっかり見てもらいたいんやけど…

いろいろ不安…何がちがうのか聞きたいなあ…

↑市議団保育所・幼稚園チラシ表面
裏面には認定こども園の設置予定図があり、場所をみると、閉園される園からとても離れてしまうのが一目瞭然です。はたして、この計画は、子どもにとって本当により良いものになるのでしょうか?みなさんの、ご意見をお聞かせください。

市議団ホームページ <http://jcpwkym.sakura.ne.jp/>
森下さち子のブログ <http://sachikogo.exblog.jp/>

「公立保育所・幼稚園の統廃合計画」について、市民のみなさんにお知らせしつつ、ご意見を伺うアンケートを各コミュニティセンターで開催されている“子育て広場”や“乳幼児検診”、休日の公園にも出かけ、返信封筒をつけて協力をお願いしています。ほとんどの方が受け取ってくれるだけでなく、配布した後は必ず何通かの回答が返信されてきます。市議団の調査活動として直接市民の声を聞き、議会活動にも生かす予定です。待機児童をなくし、安心して子育てできる環境作りのために公立保育所・幼稚園に何ができるのか、みなさんと共に考えていきたいと思っています。なお、このアンケートはホームページでもダウンロードしてメール返信できます。